

平成30年度第1回独立行政法人家畜改良センター契約監視委員会

議事概要

1 日時

平成30年6月7日(木) 13:10～15:35

2 場所

家畜改良センター 本所 第1会議室

3 出席者

(1) 委員(五十音順)

五十嵐 稔 委員、亀山 富美男 委員、小谷 あゆみ 監事、
佐藤 成 監事、吉川 幸雄 委員

(2) 家畜改良センター

管財課

我妻課長、高橋課長補佐、岩下調査役、許田契約第2係長、
山田施設整備係員

コンプライアンス推進室(事務局)

東海林室長、鹿又監査専門役

4 議事

- (1) 契約監視委員会規則の一部改正について
- (2) 審議対象公共工事の抽出について
- (3) 平成29年度調達等合理化計画の要点及び平成29年度第2回委員会
のご指摘等への対応状況について
- (4) 平成29年度下半期の入札・契約状況について
- (5) 随意契約の状況について
[平成29年10月～30年3月契約分]
- (6) 一般競争入札において一者応札・応募となった契約の状況とその改善
方策等について
[平成29年10月～30年3月契約分]
- (7) 抽出した公共工事の入札・契約状況等について
- (8) 平成29年度調達等合理化計画に係る自己評価について
- (9) 平成30年度調達等合理化計画(案)について
- (10) 契約監視委員会の今後の進め方について

5 審議結果及び主な意見

- ・ 平成29年度調達等合理化計画に係る自己評価及び平成30年度調達
等合理化計画(案)については、了承する。

- ・ 一者応札について
 - ① プロパンガス供給契約については、一者応札となった牧場がある一方で、防疫面で厳しい条件を付しているにもかかわらず複数者が入札している牧場もあるので、その違いがどのような理由によるのか分析し、より入札に参加しやすい方法を検討する必要がある。
 - ② 本所の健康診断に係る契約については、ここ数年間一者応札が続いているので、むしろ診断結果の職員へのフィードバック等を充実させ、かつ、それを継続するために特定の医療機関との随意契約へ切り替えるということも選択肢として検討すべきと思われる
今後も一般競争入札方式を継続するのであれば、一者応札を解消するために、入札条件としている健康診断の実施時期を見直し、実施機関の多くが繁忙な期間を避けて時期を設定することを検討すべきである。
- ・ 抽出した公共工事について
審議対象案件から抽出した次の2件について、それぞれにつき契約の概要、入札執行状況等を担当者から説明を受け、審議を行った。
 - ① 宮崎牧場直接検定豚舎新築工事
 - ② 岩手牧場構内舗装道路改修工事委員会による意見具申： 特になし

以上